

ましん 麻疹（はしか）について

麻疹とは、麻疹ウイルスによって発症する感染症です。麻疹ウイルス感染後、10～12日の潜伏期を経て発症します。発熱、咳・鼻水、目の充血などがみられ、3日ほどで一旦解熱しますが半日程度で再度発熱し、同時に全身の皮疹が出現します。症状は約1週間改善し、皮膚に色素の沈着を残します。



健康
通信

常陸大宮済生会病院

小児科

小太刀 豪 先生

重要な特徴

ここまで聞くと、一般的な風邪と変わりがないように感じるかもしれませんが、麻疹には重要な特徴が2つあります。1つ目は感染力がとても強いことです。免疫がない人に対しては空気、飛沫、接触感染によってほぼ100%感染し、大流行する場合があります。最近では平成20年に日本で大流行しました。

2つ目は合併症が多い点です。麻疹に感染した約1000人に1人が脳炎となり、そのうち約1割が命を失い、3割程度が後遺症を残します。また、5～10年後に遅れて脳炎になる場合もあります。肺炎などを合併することも多く、時に重症化して致死的になることがあります。その他の合併症としては中耳炎などがあります。

予防するには

麻疹に対する特効薬は存在しないため、解熱剤や感冒薬などで症状を抑えることしかできません。では感染力の強い“麻疹”への感染をできるだけ回避するためにはどうすればいいのでしょうか。その答えが『予防接種』です。

現在、日本ではMR（麻疹・風疹）ワクチンの予防接種を「1歳」と「小学校入学前」の2回接種を推奨しています。1回目で約95%の人が免疫を作り、2回目でほぼ100%の人が免疫を作ります。また、一度でも麻疹に感染すると確実に免疫ができるため、再度感染することはありません。そのため感染した人は予防接種の必要はありませんが、本当に麻疹に感染したかは、血液検査で“抗体価”を調べる必要があります。気になる方は医療機関で相談してみてください。

麻疹は感染力が高く、合併症が多く時に致死的となる疾患です。予防が最も効果的であり、肺炎や脳炎などの合併症を避けるためにも、予防接種をきちんと行いましょう。

▶▶▶ 「1歳になったらMRワクチン」 ◀◀◀

市民の方からのまちのできごと 原稿募集

皆さんがお住まいの地域のできごと取材した原稿と写真をお持ちください。

ただし、お寄せいただいた原稿等は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

■問い合わせ■ 政策審議室 秘書広聴課
秘書広聴・広報Gグループ

☎ 52-1111 内線 312 FAX 53-6010

✉ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中！

【広報紙】半枠(45mm×85mm)、全枠(45mm×175mm)

【ホームページ】バナー広告

* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁秘書広聴課(☎52-1111 内線307、312)までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>